

しあわせだっきゃなー！

木村スヨさん100歳を迎える

木村スヨさん(上高根)が、2月17日(火)入所しているきりん館で100歳の誕生日を迎えました。小野町長から顕彰状と祝い金などが手渡されました。

町長が「私が小さいときお世話になったことを思い出しました。これからも元気に長生きしてください」と声をかけると、木村さんは「しあわせだっきゃなー。おもしろじゃー」と話しました。

木村さんは、大正4年に旧柏村に生まれ、昭和10年に木村清之丈さんに嫁ぎました。結婚後は農業に従事していたそうです。趣味は裁縫や花の観賞できりん館入所後も裁縫を楽しんでいたそうです。

この日は、家族7人がお祝いにつけ、娘の片山フジエさんは「私が小さい頃はセーターを編んでくれたりやさしい母親で手先が器用だった。今後も元気で長生きしてほしい」と話していました。

セレモニーで木村さんは、自分の似顔絵が描かれたケーキのろうそくを吹き消す元気ぶりでした。



地元産大豆を活用

ピュアでとうふづくり

地元で収穫された大豆を利用したとうふづくり教室が、2月22日(日)町特産品加工販売所「ピュア」で行われました。

教室には町内から10人が参加し、豆をすりつぶすところからチャレンジしました。町産の大豆を使用したとうふは、豆の香りもよくでて美味しいと評判があります。

参加者は、講師の木村つさみ(大沢内)の説明を聞きながら、ひとつひとつ行程をこなして行きました。

完成後、それぞれ試食した参加者は「豆の香りが濃くて美味しい。家でも挑戦してみたい」と話していました。また、「とうふの豆の味がでる食べ方は？」という質問に、木村さんは「この時期は湯どうふがおすすめ」と答えていました。参加者たちは、できたてのとうふとおからを持ち帰って、夕飯に活用したそうです。

アスパラ収穫やヤリイカ刺身づくり体験

法政大学の学生たちが奥津軽フィールドスタディー

法政大学の学生たち22人が、奥津軽地域の各所を2月19日(木)～22日(日)まで訪れ、地方の現状や地域づくりなどを学びました。

3日目の21日(土)は、当町で冬のアスパラを収穫後、ふれあいセンターに移動し、旬の活ヤリイカの刺身づくりの体験を行いました。グループ発表では、五所川原市と当町でのまち歩きや農業・漁業体験、民泊などを通じて実際に見て・聞いて・感じたことをまとめ、民泊の模擬ポスターを紹介しました。グリーンツーリズム「かけはし」のみなさんとの交流会で発表し、斬新なアイデアには大きな拍手があがりました。

学生たちは大学では学べない、地域の人とのつながりや文化、津軽弁のあたたかさを感じたようです。



いろいろな種目で勝負

学童スキー・スノーフェスティバル

学童スキー・スノーフェスティバルが、2月11日(水)宮野沢スキー場で行われました。大会は、幼児(そり)、小学生(回転、そり、フラッグ、ばんば、綱引き)、一般(回転、そり、スノボ、フラッグ)に別れ、57人が参加しました。結果は次のとおりです。(※優勝者のみの掲載、一般は省略)

- 回転競技…小学男子 新谷唯斗(中里小1年)、古川琉偉(中里小2年)、外崎隼矢(中里小3年)、坂田陽(中里小4年)、高山日那大(中里小5年) / 女子 加藤心春(中里小1年)、古川郁子(中里小2年)、工藤夢叶(武田小3年)、古川萌子(中里小4年)、中畑遥菜(中里小5年)
- そり…小学男子 中村輔孔(薄市小1年)、小鹿翔平(中里小2年)、外崎權(武田小3年)、津田優希也(中里小4年)、三上虎丸(中里小5年)、新岡翔輝(武田小6年) / 女子 新岡あかり(幼児そり)、荒関いちほ(中里小1年)、古川郁子(中里小2年)、工藤夢叶(武田小3年)、古川萌子(中里小4年)、中畑柚乃(中里小5年)
- 雪上フラッグ…男子低学年 白戸敬造 / 男子高学年 三上虎丸 / 女子低学年 中畑里穂 / 女子高学年 中畑柚乃
- ばんば…武田連合 ■雪上綱引き…中小B



気持ちいい汗流す

ビーチボールバレー大会

冬の運動不足の解消や交流を目的にビーチボールを使ったバレー大会が2月1日(日)小泊小体育館で行われました。

大会には、10チーム40人が参加。予選リーグ、決勝トーナメントで争いました。小泊中バレー部も参加し一般チームに挑戦しました。参加した選手は「この時期は外に出ないので運動不足になる。気持ちのいい汗をかいたのでストレス解消にもなった」と話していました。

■大会結果

1位…アタックNo.2 2位…アタックNo.1 3位…烏丸排球部

冬の農業体験

もぎたてアスパラを味わう

冬の農業を体験してもらおうと給食思いやり隊が、2月10日(火)佐藤イネ子さんのビニールハウスで、薄市小6年15人と薄市保育所年長5人を招待し、アスパラの収穫を行いました。

外は今年一番の寒さとなりましたが、子どもたちはビニールハウスに入ると「あったかい」と驚いていました。このハウスは、学校給食で出た廃油を使用したストーブを暖房に利用しています。子どもたちは廃油をタンクに運んで手伝うなど作業を行いました。

それぞれ、新鮮なアスパラを収穫し、そのままホイル焼きにして食べました。「あまくて美味しい」と味わいました。佐藤さんは「子どもたちに冬に農業を体験してもらい、収穫の喜びを味わってもらいたい」と楽しむ子どもたちを見ながら話していました。



冬場の運動不足の解消に

小泊地区婦人会室内運動会

小泊地区婦人会室内運動会が、1月9日(金)小泊漁火センターで開かれました。

運動会には婦人会の会員33人のほか小泊支所の職員も参加し、ボール送りや、玉入れ、輪投げ、色合わせなどを一緒に行いました。

冬場であまり運動ができないこの時期、皆が心地よい汗をかきながら様々な運動を楽しんでいました。



沿岸訓練実施隊が活動発表

水産多面的機能発揮対策報告会

水産多面的機能発揮対策報告会が、1月23日(金)有楽町朝日ホール(東京都)で行われ、中泊町沿岸訓練実施隊が海難救助訓練など実施隊の活動を発表しました。

会場には433人が集まり、全国8団体が事例を発表しました。この事業は、国民の生命・財産の保護と地球環境保全、漁村文化の継承を主な項目にして、日本の水産業の発展を目標にしている事業となっています。現在45都道府県において約900団体が活動を行っています。

報告会では事務局である小泊漁協の秋元氏が発表を行い、質疑応答は成田総務課長が対応しました。

やわらかな灯火

雪灯籠づくり

雪灯籠づくりが、1月31日(土)パルナス駐車場前で行われました。参加した子どもたちは、赤や青などオリジナルのろうそくづくりからスタート。外にでてからは、バケツなどの型に入れてつくった雪に穴を開けて灯籠に仕上げていきました。

最後はつくったろうそくを設置し、夕方に点火式を行いました。参加した子どもたちは「きれいだな。つくってよかった」などとやさしい灯火に癒されていました。



広告

第二種社会福祉事業 認知症対応型老人共同生活援助事業者 老人デイサービス事業者

社会福祉法人向明会 グループホーム・デイサービスやすらぎの里

一般見学会開始 3/14(土)・15(日)

平成27年 3月
移転新築OPEN

今後随時実施

10:00~16:00

お気軽にお問い合わせください

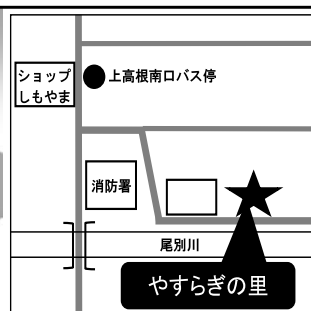
電話 0173(69)2250, (26)5330 担当:山田



完成予想図

平成27年4月よりデイサービス40名 平成27年5月よりグループホーム2ユニット18名

青森県森林整備加速化・林業再生事業活用(木造公共施設等整備・木質バイオマスエネルギー利用施設整備)



所在地 中泊町大字尾別字小谷26-1